

植物多様性センターの「ホルトノキ復活！」

伊豆諸島ゾーン極相林エリアのホルトノキは、すっかり枯れたと思われていました。ところが、生きていたのです！ホルトノキの自生は、関東では千葉県や伊豆諸島などで見られます。多摩地区でも街路樹に植栽されていますが、不運にも学習園に植えられた冬が数十年ぶりの寒さだったため、地上部が枯死してしまっただけです。今は枯れた幹を切り戻し、だいぶ小さくなりました。少しずつ復活していく様子を見守っていたださいね。



正門近くのガクアジサイの隣で枯れたと思われていた姿



地上部：幹はひび割れ、葉は完全に枯れて干からびている



5月中旬：根元の潜芽から小さな新芽が発生しているところ



6月下旬：数本の元気な「ひこばえ」が根元近くから伸びている